

短歌

毎日を花と野菜の手入れせばいつの間にか我が手は日焼け
 猛暑の日続く毎日涼む夜待ちわびること夜霧の街に
 山里は蝉の鳴き声響きお汗したたりてブルーベリー摘む

あつま文芸友の会発行「文芸あつま第二十三号」から抜粋

本郷 湯浅 悦子
 京町 中井 るみ子
 京町 木村 百合子



Vol.236

厚高インフォメーション Atsuma High school Information



学校の取組をご覧ください。
 厚真高校ホームページ
<http://www.atsuma.hokkaido-c.ed.jp/>

■防犯・薬物乱用防止教室
 ▼6月20日(木)
 苫小牧警察署員の方を講師として招き、不審者による犯罪にどのような生徒が被害に遭っているのか、その対策や防御法、心構えについて学びました。また、薬物乱用の恐ろしさや正しい知識を知ることができました。

■小学校スポーツテスト支援
 ▼6月28日(金)
 消防署厚真支署と北海道消防機材株式会社との協力を得て、校内か

らの出火を想定した「避難訓練」
 「消火訓練」および避難袋を活用した「避難袋訓練」を実施しました。当日は風が強かったため2カ所のうち片側の避難袋だけの活用となりましたが、予定していた訓練を無事に終えることができました。3階かららせん状に滑り降りる避難袋訓練に生徒たちは真剣な表情で取り組んでいました。

■1年生インターンシップ
 ▼6月27日(木)
 今年度は全学年の生徒が職業体験学習を実施します。1学年は、職業観や勤労観を身に付けるために、第一次産業(農業・林業)を体験する計画です。第1弾として厚真町農業担い手センターでの農業体験を経験しました。終日の活動であったため生徒にとつてかなり疲れた取り組みとなりましたが、働くことの意義や姿勢を学ぶ良い機会となりました。

■札幌交響楽団鑑賞
 ▼7月17日(水)
 札幌コンサートホールKitaraで行われた日本製紙クリネックス Presents 札幌ポップスコンサートの1・2年生が招待されました。最前列で鑑賞し、演奏の迫力に圧倒されました。演奏は生徒が知っている曲が多く、学校祭明けの疲れた心と体にエネルギーをもらうことができました。

▼6月20日(木)～28日(金)
 上厚真小と厚真中央小へ、延べ22名の生徒が授業支援を行ってきました。この活動は、「全校ボランティアクラブ」の一環として、全校生徒がさまざまなボランティア活動を通して、人間性を育むことを目的に昨年度から始めたものです。生徒は、小学生と接することなどで他者へ細かな配慮をすることなどを学ぶことができました。

▼7月12日(金)13日(土)
 今年のテーマは「Let's 令和 Festival ～ For One Purpose」でした。土曜日午前と日曜日終日の一般公開では約60人の方々に来校いただきました。

厚真町 地域おこし 協力隊



地域おこし協力隊 農業支援員
 こばやし ひろかず
小林 広和 さん (35歳)

着任 平成31年4月(1年目)
 出身地 札幌市
 ひとこと 皆さん、よろしくお願いします!

file.24

自己紹介をお願いします。
 今年の4月から農業支援員として活動している小林です。20歳から15年間、東京の青山で美容師をしていました。子どものアレルギーがきっかけで「食」に興味を持ち、食べ物を作る人になりたいと思うようになった。また、何歳になってもできて、子どもとの時間を大切にできるというのも魅力的で農業を志しました。

農業に関わったの印象は？
 4月から2カ月間で感じたのは、農作業以外の道具を直したり整えたりなどの仕事が多いことです。指導員の方が「百姓」という言葉を使うのですが、本当に「何でもやる」のだと思いました。

どんな農家になりたいですか？
 食の安心安全を大切にしたいですし、対面販売など消費者の顔を見ることができるといいです。また、妻も美容師で、自分も美容師が嫌いになったわけではないので両立できるかなど、いろいろの可能性を模索していきたいです。まずは農業をしっかりと学び、地域の方とたくさん関わって厚真のことを教えていただきたいと思います。ご指導よろしくお願いします!

生活支援相談員 だより

社会福祉協議会 生活支援相談室
 電話:29-7407

「毎週続けていると、できるようになるもんだねえ」
 体操教室に参加している80代の女性が股関節の可動域の広がりを実感して、喜びと驚きが混ざったような感想を寄せてくれました。

仮設団地の敷地内には住民が気軽に使用できる談話室が設置されています。団地ごとに談話室の活用頻度や内容は異なりますが、定期的に行われている体操や編み物、手芸教室等は、心あるボランティアの方々に支えられながら実施しています。継続的にご協力いただいているボランティアの皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。

仮設住宅等にお住まいの方がこもりきりにならないよう、集い・サロンの場を設けることも生活支援相談員の役割の一つです。

「姿勢がよくなったのかなあ。身長が伸びて物干しに手が届くようになったよ」といった声も聞こえてきました。当初のねらいを上回る目に見える効果が得られると、ボランティアにとっても私たち相談員にとっても励みになります。

今後も談話室の活用やイベントの開催を通して、効果的な場づくりを行っていききたいと思います。



災害ボランティアセンター だより

町災害ボランティアセンター
 電話:29-7407 専用電話:080-1888-3140

町災害ボランティアセンターの公式フェイスブックは、9月10日に開設し、10カ月経った今も情報を発信し続けています。開設した当初は、ボランティア募集情報や活動状況、町内の道路状況や注意事項などの記事を発信していました。現在は災害ボランティアの活動状況のほか、厚真町の現在の様子や日常的な話題についても発信しておりフォロワーは3,800人を超えています。

センターでは、ボランティア登録についてフェイスブックを通じて呼びかけています。町外のボランティアだけでなく町民の皆さまのご協力も募ってお

りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。詳しくはフェイスブックのトップ記事から専用フォームにて登録いただくか、災害ボランティアセンターまで電話等でお問い合わせください。



公式フェイスブック
<https://www.facebook.com/atsumavc/>

発表します!!

将来の夢&目標

厚真中央小学校6年



たけやま きりゅう
 武山 喜竜くん



きむら みき
 木村 美貴さん



かりや りの
 刈屋 璃乃さん



たかはし ゆうや
 高橋 侑也くん